

マキタ製

カクハン機用カバー

チルマーデ®



Martex®
Plastering & Tiling
Waterproof & Exterior wall construction
Building Materials & Art

マーテックス株式会社

マキタ製に対応

- マキタ製
UT1305 (高速回転用)
UT2204 (低速回転用)
に対応！

シャフト・ミキシングブレードが一体型の
ものには取り付けができません。
充電式は非対応となります。



チルマーデの特徴

- 材料が飛び散らない
- コードが巻き込まれない
- 簡単装着

高速で回転している攪拌棒にまわりついたものが遠心力で飛び散るのを、カクハンカバーを装着することで防ぐことができます。回転部分を隠しているのでコードやエプロンなどの巻き込み事故を防ぐことができます。装着が簡単で、材料を練る時の振動も軽減します。



安全対策について

私たち、左官業も安全性に関して日々考えています。
普通に何も考えずに、何の対策もせずにノコギリを使うとギザギザの部分を手にとって痛くて大変です。
先人が工夫をして持ち手は細く持ちやすくして木製にしたり、布を巻いたり、色々考えた結果、今では当たり前前にノコギリが使えます。
それと同じく、攪拌機にも安全対策をした方が良いと考えました。
実は攪拌機の回転部分であるシャフトは布や袋が絡まったり、コードが絡まったり、事故が起こっています。
これは表立って公表されていないだけで、かなりの件数発生しているのです。
挟まれて巻き込まれる状況は本当に怖いし痛いんです。
実際は痛いだけでは済まないです。
労災や生命保険では大きな怪我や障害は「治らない」んです。
本当に大変な事なのです。
心配してくれる家族や仲間のためにも事故は絶対に防ぎたいです。

チルマーデは攪拌機の回転部分を覆う事で事故を防ぎます。



安全対策について

労働安全衛生規則第101条

労働安全衛生規則第101条は、機械による巻き込み事故の防止を目的とした法律です。この規則により、事業者は、機械の原動機や回転軸、歯車、ベルトといった危険な部分に、労働者の安全を守るための覆いや囲いを設けることが義務づけられています。

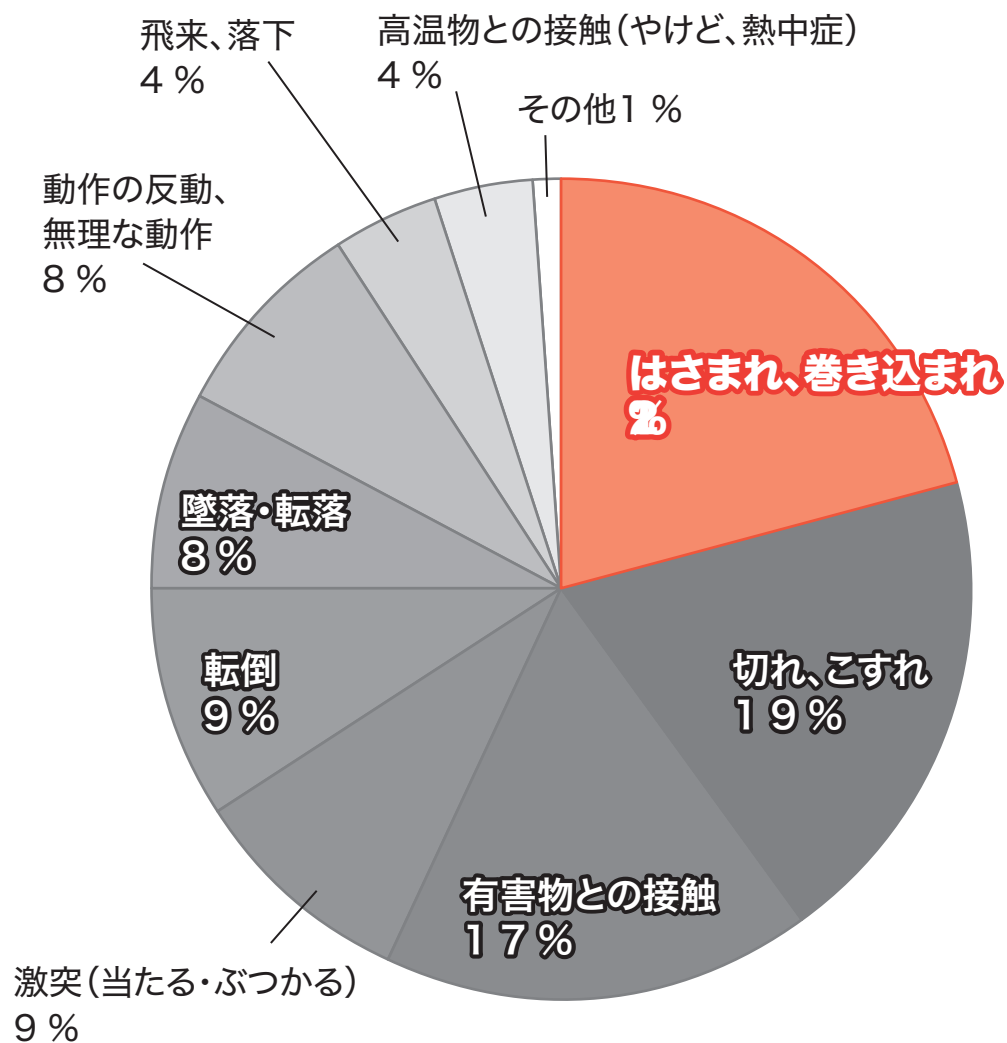
具体的な要点

- ・対象：危険な部分を持つすべての機械。
- ・措置：危険部分には、覆い、囲い、スリーブ、踏切橋などを設置しなければなりません。
- ・止め具・ベルト： 回転軸の止め具は埋頭型を使用するか覆いをつけ、ベルトの継ぎ目には突出した止め具を使ってはいけません。



この規則に違反して労働災害が起きた場合、事業者は法的な責任を問われる可能性があります。

安全対策について

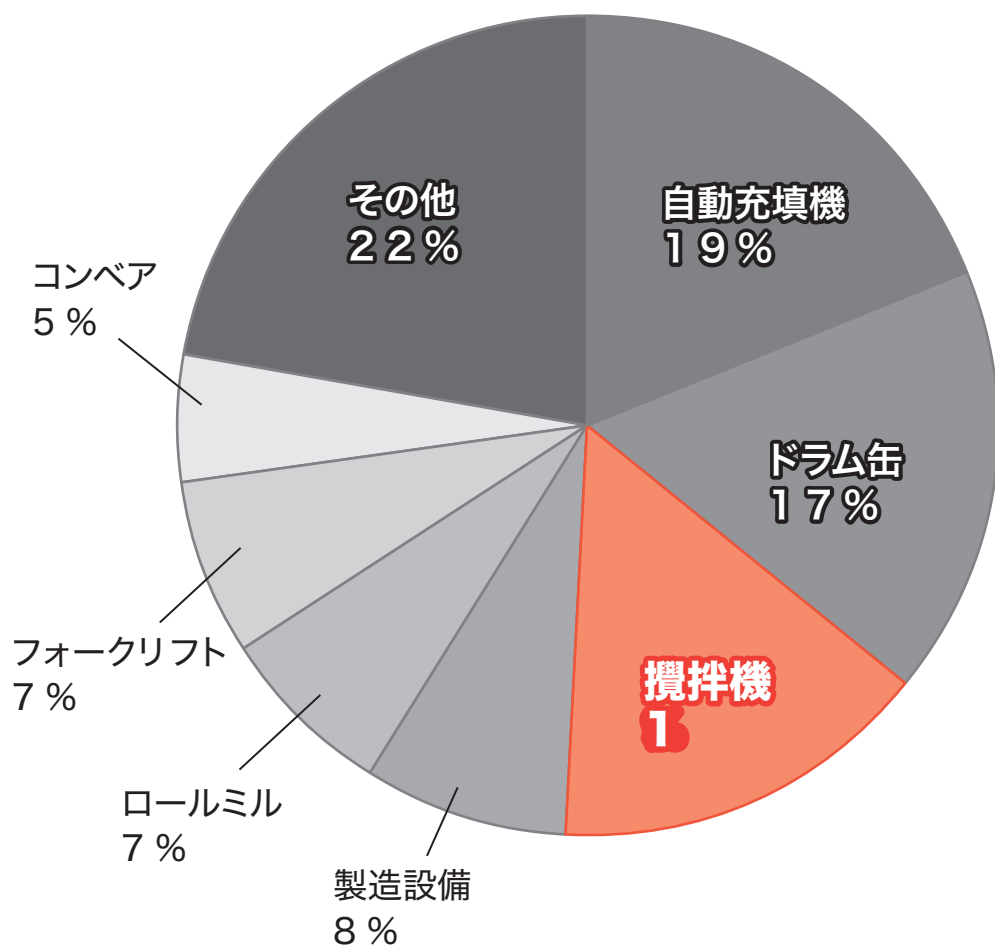


日本塗料協会 WEB サイトより

労災事故で多いのが攪拌機など回転物への接触による「はさまれ・巻き込まれ」です。
事例も上がっておりますが、それはほんの一部です。

対策もそれぞれの事故で考えられているようですが、ルールを必ず守る事やチェックの徹底など、事故が起きる前と何ら変わらず「気を付ける」項目が増える事でミスが起きる確率を上げてしまう状況がほとんどです。

安全対策について



日本塗料協会 WEB サイトより

はさまれ・巻き込まれ事故の起因比率のデータもあります。
意外にも攪拌機の比率は高いです。

安全対策はルールを決めるだけでは注意する項目が増えるだけで、使用者の負担が増えるだけです。
仕組みを見直して、誰が使っても安全な状態を目指すことが、本来の対策だと考えております。



チルマーデ®

取付け簡単

- ① カクハン機本体より、製品の仕様に沿ってグリップとミキシングブレードを取り外します。



- ② チルマーデをカクハン機のシャフト部分に取り付けます。



- ③ しっかり奥まで差し込み、グリップの取付穴にチルマーデの穴を合わせます。



- ④ 製品の仕様に沿ってグリップとミキシングブレードを取り付けて完成です。



お手入れ簡単



チルマーデを外さずカクハン機のミキシングブレード・シャフトまでをきれいな水につけ、回すことでご洗浄いただけます。

※ミキシングブレードにチルマーデが接触する場合はチルマーデのパイプ部をカットして調整してください。

※落としたりひび割れた場合はご使用をお控えください。

SNS などご意見

TikTok でチルマーデ® の紹介動画を公開すると、いくつかのコメントをいただきました。



仕上げ洗いをする時にバケツにホースを入れたまま洗う。その時に絡まる。制御不能になった。



線が切れて仕事にならなかった事ありますわ



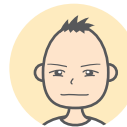
ゴム手で掴んでボキボキボキと鈍い音を目の前で聞いたことがあります



若い時にセメント練る時、ミスってそのままコード切って直したこともあり



養生をしっかりとっているが、どうしても飛び散った物を踏んで、汚れが広がってしまう。



職人さんは練ったらすぐ持っていきたい。なので軍手やゴム手袋ではあるけど、直接シャフトを握って回転を止める事がある。その時、腕を持って行かれた。



前の現場の防水屋のおっちゃんがマゼラー動かしたまま、ゴミが入ったからと言って手を突っ込んで左手の小指と薬指がぐっちゃぐちゃになったそうです。慣れてきたから俺は大丈夫って思わないで一つ一つ丁寧にゆっくりと作業しましょう!ご安全に



昔、これで作業ズボンに引っかかってズボンビリビリになった